News Release

経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

平成２０年７月２５日
経　済　産　業　省

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第３５条第１項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

１．ガス機器・石油機器に関する事故　　２件
（うち石油ストーブ（開放式）１件、石油こんろ１件）

２．ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因が疑われる事故　　３件
（うちベビーカー１件、エアゾール缶（殺虫剤）１件、
テレビ（ブラウン管型）１件）

３．ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因か否かが特定できていない事故　　６件
（うちエアコン（室外機）２件、電動車いす（ハンドル形）１件、エアコン１件、
電気冷蔵庫１件、電気洗濯乾燥機１件）

４．製品起因による事故ではないと考えられ、今後、第三者判定委員会において、
審議を予定している案件　　１件
（うちガスこんろ（ＬＰガス用）１件）

※詳細は別紙のとおりです。

５．留意事項
本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

６．特記事項
(1) アップリカ育児研究会アップリカ葛西株式会社が製造したベビーカー
（管理番号 A200700768）
リコール対象製品及び台数等の変更に伴い、再掲するもの。
①事故の概要
アップリカ育児研究会アップリカ葛西株式会社（現アップリカ・チルドレンズプロダクツ株式会社）が製造したベビーカーの一部において、当該製品を使用中にハ

ンドルサポート取付ねじが脱落し、ベビーカーの背もたれの片側が傾いたことによりベビーカー及び乗っていた幼児がバランスを失い転倒し、幼児が負傷したと思われる事故が発生しました。
　７月７日のリコール発表時点では、重大事故（重傷）１件、非重大事故（軽傷）５件、計６件の事故が報告されていましたが、その後の事業者による精査の結果、新たに非重大事故（軽傷）が１件発生していたことが明らかになり、事故件数は計７件となりました。
　同様に、平成１８年８月から平成２０年５月までの期間において、ネジの緩み・脱落が発生したリコール対象製品に対して修理対応もしくは交換用部品の送付を行っていた件数は、９，２８０件との報告でしたが、精査の結果、平成１５年１１月から平成１８年７月までの期間においても４，８９０件の対応の事実が判明し、計１４，１７０件となりました。

②対象製品
　７月７日のリコール発表時点では、平成１５年１１月から平成１９年３月までの期間に製造された製品の一部（下記範囲（※印を除く）の製品名が製品ハンドルフレーム右中央部付近のラベルシールに記載されているもの）をリコール対象としていましたが、精査の結果、製造工程の事情から実際にはリコール対象製品の一部の製品が平成１９年４月まで製造されていたことが判明しました。
　さらに、ネジ締め工程の加工不良によるリコール対象製品は、当初１２シリーズ１９３商品と発表していましたが、販売ブランド及び商品名の再確認を行ったところ、リコール対象製品は１４シリーズ２８３商品となりました。

　商品名の後ろに「※」が付いているものが、新たにリコール対象製品の商品名として追加されたもの。

商品名	対象台数
カルッコライト　シリーズ（両対面）※	１，９９９
ドッチモターン　シリーズ（両対面）※	３，７００
カルッコベッド　メディカル アイｔｏアイ　シリーズ（両対面）	５７，６３６
超軽量ふわっとベッド　アイｔｏアイ　シリーズ（両対面）	１８６，０７８
WなＭｉｎｉ　アイｔｏアイ　シリーズ（両対面）	１４２，７２０
ＶＥＲＹ　ベリー　Ｍｉｎｉ　シリーズ（両対面）	５５，２４８
ベビー　クルーザー　シリーズ（両対面）	６４，２３４
ミラノライト　両対面　シリーズ	４，６７７
ロイヤルプラム　シリーズ（両対面）	３，９９８
ユーロプラス　シリーズ（両対面）	３，５９３
Ｍｅｄｉｃ　Ｒｅｖ（メディックレヴ）シリーズ（両対面）	１４９
ベビーカー工房　シリーズ（両対面）	４６３
マワール　４ＷＦ　シリーズ（両対面）	３２，１０２
ショコラ　シリーズ（両対面）	５６，３３９
合　　計	６１２，９３６

対象期間：平成１５年１１月から平成１９年４月までの期間に製造されたもの

③事業者の対応

７月７日のリコール発表時点における当初の対応は、事業者は使用者から電話を受け、点検実施の方法について説明するとともに交換用部品を無償で送付するものでした。この度、事業者は、リコール実施方法として新たに、運送会社により使用者のご自宅からリコール対象製品を一時引き取り、事業者による点検・改修を行った後、使用者のご自宅まで点検・改修済みの製品を届ける方法を追加することとしました。これにより、使用者は、製品の日常の使用状況や使用者自らの点検・改修を行ったことによる安全性の確認の要望の有無に応じて、点検・改修を行う方法を選択できることとなりました。

④事業者の告知

・プレス発表：7月２５日（金）１５：００
・新聞社告　：7月２６日（土）朝刊
（全国紙　　５紙　読売、朝日、毎日、産経、日経）
（地方紙　３８紙）
・事業者ホームページへの情報掲載：7月２５日（金）１５：００
・販売店店頭へのリコール情報の掲載

⑤消費者への注意喚起

消費者の皆様におかれましては、対象製品を使用されている場合には、下記フリーダイヤルに速やかに御連絡いただき、事業者による製品の一時引き取り・点検・改修を受けるか、もしくは事業者から無償送付される交換用部品を使用してネジの締め付けを行うようお願いします。

この度、リコール対象製品の範囲が拡大されたことから、７月７日以降、事業者のフリーダイヤルに既にご連絡され、対象製品には該当しないと事業者より回答があった使用者、事業者の製品を使用しているものの未だ対象製品か否か確認をお済みでない使用者におかれましては、新たに対象製品に該当する場合があるため、あらためて下記フリーダイヤルに御連絡ください。

また、ベビーカーの使用に関しては、乳幼児を乗せる際は必ずベルトを締める、ベビーカーを開閉する際には、指挟みなどの防止のため、乳幼児を側に近づけないなど、取扱説明書及び製品に表示されている注意警告表示を守り、安全のために正しい使用方法を守って頂きますようお願いします。

（アップリカ・チルドレンズプロダクツ株式会社の問い合わせ先）
ホームページ　：http://www.aprica.jp/hm/html/news/support3.html
フリーダイヤル：０１２０－５４５－３７０
受付時間：２４時間対応　　（7月３１日まで、土・日を含む）
９：００～２０：００（8月1日から、土・日・祝日を含む）
９：００～１７：００（9月1日から、土・日・祝日を除く）

(2**)ライオン株式会社製エアゾール缶（殺虫剤）（管理番号** A200800413**）**

①事故再発防止策について

「バルサン氷殺ジェット」においては、噴射剤として、一般的なエアゾール製品

に使用されているＬＰガスに加えて、同様に引火性の高いイソペンタンという有機化合物が使用されております。同製品を火気のある場所で使用したために、ガスに引火し、火傷を負う事故が多発しています。製造事業者であるライオン株式会社では、平成１９年８月２８日及び９月４日等、計４回新聞社告を掲載し、対象製品について回収を実施しています。

対象本数　　３，２５０，０００本
回収率　　４５．４％（平成２０年６月３０日現在）

②消費者への注意喚起

夏期に入り虫の活動が活発になり、殺虫スプレーを使う機会が増える季節となりましたが、対象製品を御使用の消費者の方々におかれましては、製品の使用を中止していただくとともに、早急に、ライオン株式会社が設ける下記のフリーダイヤルに御連絡ください。

また、エアゾール缶の使用に関しては、可燃性のガスが含まれているため、火気のある場所で使用しない、使用後は、十分に換気を行うなど、製品に表記されている注意書きを読んでご理解頂き、安全に正しく使用方法等を守って頂きますようお願い致します。

（ライオン株式会社の問い合わせ先）
フリーダイヤル：０１２０－６７０－２２５

(本発表資料のお問い合わせ先)
商務情報政策局製品安全課製品事故対策室
担当：横田、服部、鈴木
電話：03-3501-1707(直通)

■消費生活用製品の重大製品事故一覧　　別　紙

1．ガス機器･石油機器に関する事故（製品起因か否かが特定できていない事故を含む）

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種･型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A200800410	平成20年2月18日	平成20年7月22日	石油ストーブ（開放式）	RS-L27	株式会社トヨトミ	火災	当該製品を点火後外出したところ火災が発生した。当該ストーブの上に干していた洗濯物が落下し、発火した可能性があるが、現在、原因を調査中。	福島県	
A200800411	平成20年7月10日	平成20年7月22日	石油こんろ	K-3E	株式会社トヨトミ	火災	当該製品に水を入れたやかんをのせ点火したまま外出したところ、当該製品の開口部から火が出ていた。現在、原因を調査中。	東京都	

2．ガス機器･石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種･型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A200700768	平成19年12月15日	平成19年12月28日	ベビーカー	品番：95779 超軽量ふわっとベッド ワイド アイtoアイ	アップリカ育児研究会 アップリカ葛西株式会社（現アップリカ･チルドレンズプロダクツ株式会社）	重傷1名	当該製品に幼児を乗せ使用中、ベビーカー及び乗っていた幼児がバランスを失い転倒したと思われ、幼児が負傷した。事故原因は、ハンドルサポート取付工程におけるねじの締め付け不足による加工不良により、ねじの緩みが発生したことにより、ハンドルサポート取付ねじが脱落し、ベビーカーの背もたれの片側が傾いたため、ベビーカー及び乗っていた幼児がバランスを失い転倒したものと思われる。	群馬県	平成20年7月7日に製品起因が疑われる事故として公表していたもの。 このたび、リコール対象製品及び台数等の変更に伴い、再掲するもの。
A200800413	平成20年6月23日	平成20年7月23日	エアゾール缶（殺虫剤）	バルサン氷殺ジェット 飛ぶ虫	ライオン株式会社	重傷1名	車内に虫がいたため、密閉された状況で当該製品を噴射した後、たばこに火を点けたところ爆発した。その際火傷を負った。事故原因は、殺虫成分を使用していないこと、製品の「氷殺」という名称から、火気への危険性を希薄化させたと推測され、可燃性ガスが含まれていないものとの誤解が生じた可能性があり、また、噴射剤として、一般的なエアゾール製品に使用されているＬＰガスに加えて、同様に引火性の高いイソペンタンという有機化合物が使用されていることにより、事故に繋がった可能性が考えられる。	静岡県	平成19年8月28日からリコール実施
A200800417	平成20年7月5日	平成20年7月23日	テレビ（ブラウン管型）	21C680	三菱電機株式会社	火災	当該製品から発煙した。フライバックトランスの故障による発煙の可能性があり、現在、原因を調査中。	千葉県	

3．ガス機器･石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A200800412	平成20年7月11日	平成20年7月23日	エアコン（室外機）	火災	ベランダで火災が発生し、当該製品のほか、ガス給湯機及び他の室外機等が焼損した。出火元も含め、現在、原因を調査中。	長崎県	
A200800414	平成20年7月5日	平成20年7月23日	電動車いす（ハンドル形）	死亡1名	当該製品で下り坂を走行中、山の斜面に乗り上げ、転倒し頭を強く打った。現在、原因を調査中。	愛知県	
A200800415	平成20年7月14日	平成20年7月23日	エアコン（室外機）	火災	火災が発生し、当該製品が焼損した。出火元も含め、現在、原因を調査中。	大分県	
A200800416	平成20年7月12日	平成20年7月23日	エアコン	火災	火災が発生した。出火元も含め、現在、原因を調査中。	愛媛県	
A200800418	平成20年7月12日	平成20年7月23日	電気冷蔵庫	火災	火災が発生し、台所の一部が焼損した。当該製品付近の焼損が激しい。出火元も含め、現在、原因を調査中。	埼玉県	
A200800419	平成20年7月2日	平成20年7月23日	電気洗濯乾燥機	火災 軽傷1名	住宅を全焼する火災が発生した。事故現場に当該製品があった。出火元も含め、現在、原因を調査中。	福岡県	

4．製品起因による事故ではないと考えられ、今後、第三者判定委員会において審議を予定している案件

重傷1名

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A200800420	平成20年7月10日	平成20年7月23日	ガスこんろ（LPガス用）	火災	当該製品を使用中にヒューズガス栓付近より炎が上がり、壁の一部を焼損した。当該製品がヒューズガス栓とゴムホース接続部の近くにあったため、ゴムホースがこんろの火に熱せられて溶け、ガスが漏洩して引火したものと思われる。	北海道	

ベビーカー（管理番号：A200700768）

エアゾール缶（殺虫剤）（管理番号：A200800413）

テレビ（ブラウン管型）（管理番号：A200800417）